

予算決算常任委員会における

予算議会と言われる3月定例会では、令和6年度予算について特別会計を含む

行政DX推進事業 1533万8千円

Q 公共施設の本申込みは、手書きの申込書、領収書となっているが電子化できるか。

A 現在の塩尻市公共施設予約システムは3年目になるが、キャッシュレス化の対応になっていない。今後検討したい。

全世代対応型支援体制整備事業 803万5千円

Q 総合相談マネージャーは、どこに配置するのか。総合相談窓口を設置するのか。

A 総合相談マネージャーは、1人を地域共生推進課に置き、もう1人を市社協へ委託し、困難相談等に対応、調整していく。相談は今まで各課の窓口で対応し、複雑化したものは地域共生推進課で調整をする。

こどもの未来応援事業 1541万5千円

Q 大学等進学応援支援金は受験料の補助ということか。受験に合格しても、入学後の学費に苦労する。奨学金として、生活費の援助ができないか。

A 受験料の補助である。給付型奨学金の制度も検討してきた経過もあるが、国や県の給付型奨学金が充実してきているため、今回は優先順位をつけ見送ったが、今後も県等の状況をみながら、併せて検討していきたい。

林業被害対策事業 5829万4千円

Q 松くい虫対策として今年度は被害木を何本処理したか。

A 令和6年1月末時点で、補助制度を使って43本、業者への業務委託で696本、合計739本処理している。

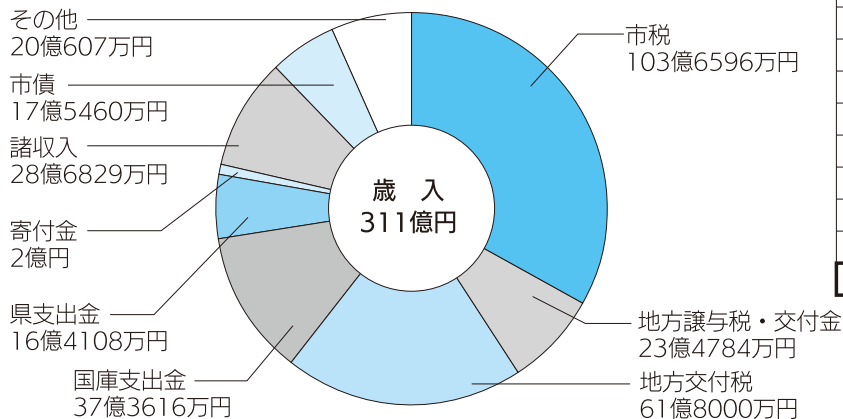
教育相談支援事業 3260万2千円

Q 中間教室はスペシャルサポートルームと捉えてよいのか。また、中間教室に行けないような子に対する支援はどのようにするのか。

A 中間教室は校内に設置される教育支援センターを指すもの。
相談支援員派遣委託により、NPOによる支援を実施する等、学校外の支援も強化していきたい。



令和6年度一般会計概要【歳入】



歳入 (財源)	令和6年度予算
市税	103億6596万円
地方譲与税・交付金	23億4784万円
地方交付税	61億8000万円
国庫支出金	37億3616万円
県支出金	16億4108万円
寄付金	2億円
諸収入	28億6829万円
市債	17億5460万円
その他	20億607万円
歳入合計	311億円